

元日登山のススメ



宗像市は多くの山に囲まれた地域。標高も2〜300mと森林浴を楽しみながら登れる山が多いため、多くの登山客が日々登山を楽しんでいます。

ここでは毎年多くの方が元旦に登っている山で、その中でもふるまいの情報について紹介します。

新立山

新立山は宗像市と宮若市の境に位置しており、宮若市では権現山と呼ばれています。

宗像を代表する川、釣川の源流はこの新立山の近くにあります。新立山の豊かな森林は釣川の水源涵養林となっているんですね。

登山口は正助ふるさと村側と平山側に2箇所あります。



日の出前には雲海を見渡すことができます。神秘的。



木々の間から初日の出を拝むことができます



新立山を守る会のみなさんによるふるまい

城山



赤間駅側から見た城山。山の向こうは岡垣町が

宗像市と岡垣町の境に位置。教育大側登山口から山頂までは1010m、三郎丸側登山口からは1477mで、およそ1時間ほどで登ることが出来ます。

夏から秋にかけては運が良ければ絶滅危惧種のウススキキヌガサダケを見つめることができます。



教育大側登山口。トイレ・駐車場あり



さあ、登るぞー！

近年では樹木の位置関係から、日の出を拝むのは難しいとのこと。

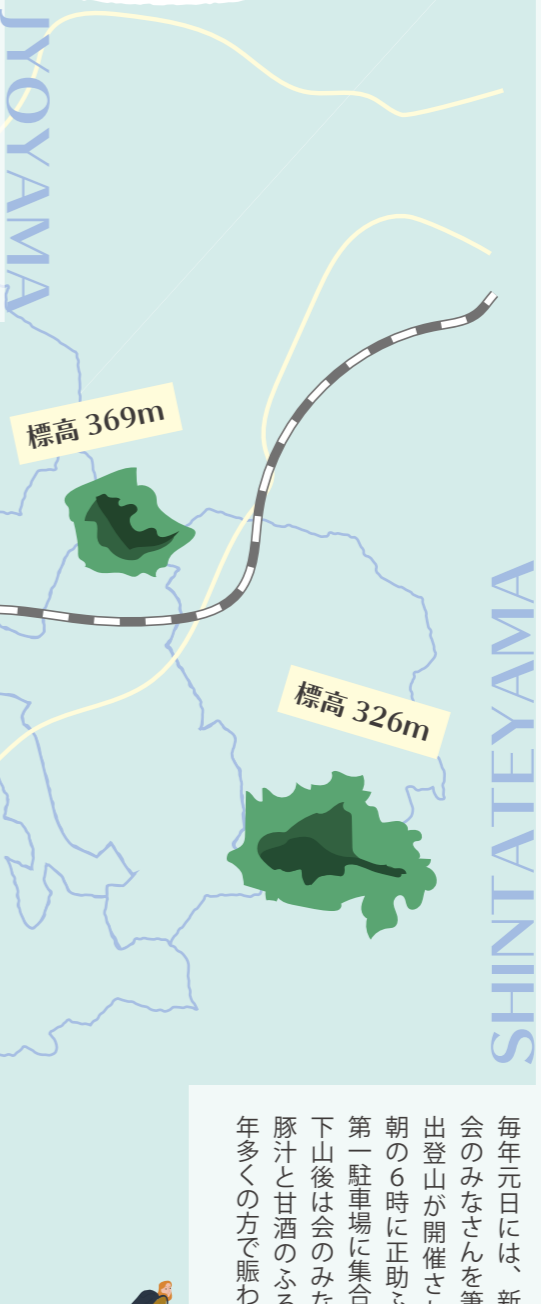
それでも例年元旦には各々の登山口から多くの方が山頂を目指して城山を登る姿が見られます。



如のウススキキヌガサダケ



登山口には親切にも登山マップが置いてあります



許斐山



許斐山頂上からは四塚連山が見渡せます



登りはじめのところにある許斐神社



許斐山を守る会のみなさんによるふるまい

許斐山は宗像市と福津市との境に位置しており、60分ほどで登ることが出来ます。

王丸登山口の「このみ公園」にはトイレや駐車場が完備されています。(16台駐車可能)

道中には許斐神社、山頂には王子神社の祠や野仏があります。頂上からの眺めは絶景で、元旦には初日の出を拝むことができます。

毎年、許斐山を守る会のみなさんが下山した登山者に駐車場で甘酒のふるまいを行います。

1月11日(土) 南郷運動広場

どんど焼き

どんど焼きとは、お正月に飾った門松や松飾り等を神社や地域の人達で集めて焼くお正月の行事のこと。

その煙にあたることで一年健康に過ごせるようになったり、残った火で餅を焼いて食べることで虫歯知らずの健康になるといって、総じて一年間の【招福・厄払い】といった意味があります。



10時から始まります

Q.そもそもどんど焼きってなに？

南郷小太鼓クラブによる許斐流太鼓の奉納や、ぜんざい・豚汁のふるまも行われます。



11時からは南郷コミセンの2Fホールで子どもたちが作った「南郷カルタ」で子どもかるた大会が行われます。新年の地域行事、家族で遊びに来ませんか？

正月飾りについては針金やみかんを外した状態にして南郷コミセン前の箱に入れておくと一緒に焼いてもらえます。他地区の方でもお持ちください。

南郷地区コミュニティ運営協議会
宗像市野坂 2119-5
0940-36-3465

地域のまつりと酒蔵びらき

2月は酒蔵びらきに合わせてその周辺地域でまつりが開催されます。この日にしか手に入らない美味しい新酒を、探しに行きませんか？



福岡、宗像のお酒「龍の尾」合資会社伊豆本店

宗像市武丸 1060 番地
0940-32-3001
「JR 教育大前駅」前、西鉄バス赤間営業所より乗車。「吉留」で下車して徒歩4分



まつりでにぎわう鳥居前

ふれ愛まつり
吉武地区コミュニティ・センター
0940-32-5904



銘酒 檜の露・沖ノ島 醸造元 勝屋酒造合名会社

宗像市赤間 4 丁目 1-10
0940-32-3010
JR 教育大前駅から下って徒歩7分



毎年行列ができる新酒のふるまい



和室にはお雛様が

伊豆本店の蔵開き(2/14〜16)に合わせて、吉武地区ではふれ愛まつりが行われます。武丸交差点横の鳥居周辺には出店がずらりと並び、普段目にはできない酒蔵見学など、見どころ満載です。

ふれ愛まつり 2/15(土) 16(日)

勝屋酒造 2/23(日・祝) 24(月・振替)

2日で2万人もの人が訪れる赤間宿まつりは勝屋酒造の蔵開きから始まったとも言われています。

蔵開き限定の新酒や甘酒、行列のできる酒まんじゅうや数量限定の奈良漬など、ここでしか手に入らない絶品商品が目白押し！和室では3世代に渡るお雛様や70種の樽の展示も行うわ、自由に観覧することができます。

※試飲などでお酒を飲む方はハンドルキーパーの確保、または公共交通機関のご利用をお願いします。